

鎌ヶ谷市 郷土資料館 だより 第47号

目次

- 郷土資料館の仕事紹介 …………… 1
- 館長着任のご挨拶 …………… 1
- 子ども講座・古文書講座の募集 …… 2
- 郷土資料館この一品 …………… 2
- 令和元年度の行事予定 …………… 3～4

郷土資料館の仕事紹介

歴史資料を受け入れています

— 歴史的公文書と私文書 —

郷土資料館では、市域の歴史を後世に伝えていくため、歴史資料の受け入れを行っています。

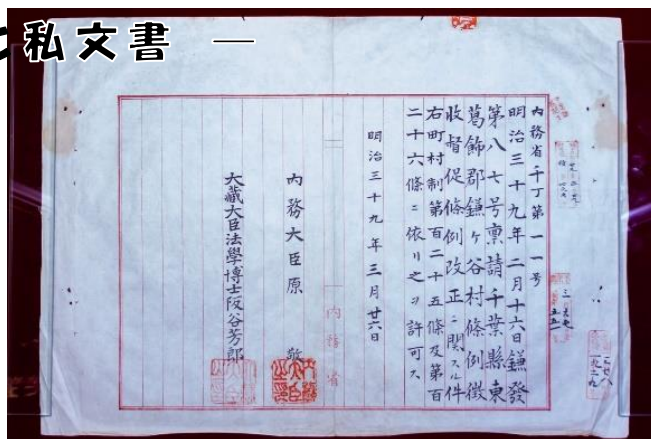
この歴史資料のうち、毎年受け入れを行っているものとして、『歴史的公文書』があります。

鎌ヶ谷市の公文書はその種類によって、保存年限を1年、3年、5年、10年、長期の5段階に定めています。この公文書の中には貴重な「鎌ヶ谷のあゆみ」が記録されているものもあります。後世に残すため永久に保存すべきこのような公文書のことを「歴史的公文書」といい、郷土資料館ではその受け入れを行っています。

館長着任のご挨拶

この4月より立野前館長から、館長を引き継ぎました三石宏と申します。私は、平成元年に入庁しました。

1年目は郷土資料館に勤務し、2年目以降は、ほぼ文化財保護行政の仕事を担当しておりました。このたび30年の月日を経て、令和元年に、再び郷土資料館の仕事に関わることができることとなったのも、何かのご縁と思います。どうぞよろしくお願いいたします。



徴収督促条例改正許可書

また、一方で郷土資料館では毎年、市民の皆様から個人宅に残された資料も寄贈していただいています。これらの資料は公文書だけでは把握できない貴重な鎌ヶ谷の歴史を知る手がかりであり、「かまがやのたからもの」です。

郷土資料館では次世代に市域の歴史を伝えていくため、これらの資料の調査・受け入れを行っています。

今年の4月30日に「平成」の時代が終わり、私たちは新しい「令和」時代の幕開けを迎えました。教科書に「昭和時代」の項目ができたように、「平成時代」の項目ができるのもそう遠くはないでしょう。

鎌ヶ谷の歴史を次の世代まで伝えていくため、お宅に眠っている歴史資料などがありましたら、ぜひ郷土資料館までご一報ください。

縄文人の生活ウォッチング

—大昔の暮らしを体験しよう—

大昔、この地で生きた縄文人はどのような生活をしていたのでしょうか？この講座では、火おこしや布づくりを体験することもできるほか、本物の土器にふれることができます。お友だちを誘って参加してね！

内容 ①縄文土器にふれる ②古代の布づくり（アンギン編み）体験 ③火おこし体験

対象 小学校6年生（保護者の付き添い可。対象学年以外は応相談）

日時 6月16日（日）午前10時～正午

場所 市立図書館3階集会室

定員 30名（6/1から受付・先着申込順）

保険代 50円（当日持参）

服装 動きやすく、汚れてもよい服装で

申し込み 郷土資料館 ☎ 4 4 5 - 1 0 3 0
（FAX：4 4 3 - 4 5 0 2）へ

くずし字にチャレンジ！

—古文書講座（中級）を開催—

郷土資料館では、中級者向けの古文書講座を5回シリーズで開催します。古文書は地域の歴史を記録した文化的な遺産です。この講座では、くずし字の判読とともに、古文書に記された内容の背景なども解説します。市域の歴史に興味のある方はぜひご参加ください。

対象 市内在住・在学・在勤で、過去に初級講座を受講した方。または、簡単なくずし字が読める方（原則として全回参加できる方）

日時 ①6月21日（金）②7月19日（金）
③8月9日（金）④9月27日（金）⑤10月18日（金）、時間はいずれも午後1時30分～3時30分

場所 市立図書館3階集会室

定員 30名（6/1から受付・先着申込順）

申し込み 郷土資料館 ☎ 4 4 5 - 1 0 3 0
（FAX：4 4 3 - 4 5 0 2）へ

郷土資料館この一品⑥

初富稲荷神社旧手水鉢

今から150年前、江戸時代の^{しもうさこがね}下総小金中野牧を開墾して成立した初富地区には、多くの関連する歴史・民俗資料が残されています。その中には、「開墾局知事北島秀朝ら旅宿看板」のように、すでに市文化財に指定しているものもありますが、本年3月26日付けで、新しく7点を「初富開墾関係資料」として市文化財に指定しました。

それらの一つに、初富地区の^{ちんじゆ}鎮守として信仰を集めている初富^{いなり}稲荷神社にかつて所在し、現在は郷土資料館で常設展示している手水鉢があります。

初富稲荷神社は、明治3年（1870）2月、京都の^{ふしみ}伏見稲荷神社より^{ぶんし}分祀して成立したと考えられています。この手水鉢はその際に、



市文化財に指定した「初富稲荷神社の旧手水鉢」

北初富の移民中から奉納されたものでした。なお、この場合の「北初富」は、現在の初富交差点から松戸方向へ向かう主要地方道「千葉・鎌ヶ谷・松戸線」沿いの両側に建てられていた「北農舎」のことをさすものと思われます。

縦39cm、横73cm、高さ39cmの小さな手水鉢に、東京から開墾地初富に移り住んだ人たちの、土地と自分たちを守護してほしいという期待が込められているようです。

郷土資料館 令和元年度の行事予定

今年度、郷土資料館で予定している各行事を紹介します。なお、各行事の内容・開催日等は予定であり、変更になる場合もあります。詳細は、その都度「広報かまがや」や市ホームページなどでお知らせします。

展 示

①第22回ミニ展示「グッド・バイ平成 ー 鎌ヶ谷30年の思い出 ー」

皇位継承のため、本年4月30日をもって「平成」時代は終わりを告げ、5月1日より新しい「令和」の時代を迎えました。30年間使用された「平成」の元号は、実は史上4番目に長く使用された元号でした。この30年で鎌ヶ谷はどのように変わっていったのでしょうか。今回の展示では、鎌ヶ谷の30年のあゆみを貴重な歴史資料と写真などから振り返ります。

■展示期間（予定）

7月27日（土）～10月6日（日）

②第23回ミニ展示「下総小金中野牧（仮）」

江戸時代の千葉県には、幕府によって設置された「小金牧」「佐倉牧」「嶺岡牧」という三つの馬の牧場まきばがありました。このうち、小金牧の一部である「中野牧」は、現在の市域中央部の台地上に位置しました。

郷土資料館には、この「下総小金中野牧」の歴史を物語る史料が多数寄贈されています。また、市内には牧の歴史を物語る史跡が多く残されています。この展示では、現在に残された貴重な歴史資料や史跡から「下総小金中野牧」についてご紹介します。

■展示期間（予定）

3月21日（土）～5月31日（日）

③新発見資料展示「はじめまして！ あたらしい鎌ヶ谷のたからもの」

平成30年度に市民の皆様から寄贈いただいた歴史・民俗資料や昨年行った調査の結果により新しく発見された歴史資料、また市内遺跡の発掘調査で出土した遺物などの、「あたらしい鎌

ヶ谷の『たからもの』」を展示します。

■展示期間（予定）

10月26日（土）～2月22日（土）

④収蔵資料展示 vol.19

「いただきます！ー 鎌ヶ谷給食 50年史 ー」

今年は鎌ヶ谷の小・中学校において、給食制度がスタートしてから50年目の節目の年を迎えます。これを記念して郷土資料館では、鎌ヶ谷の給食のあゆみを、写真や歴史的公文書などからご紹介します。昔の小学生の人気ベスト3のメニューは？ 答えは郷土資料館まで！

■展示期間等 調整中

※収蔵資料展示 vol.20 の開催は未定です

講 座（一般向け）

①クールシェア企画

真夏の昼下がり、一人1台のエアコン使用を控え、涼しい所へ集まり夏を快適に過ごす「クールシェア」。郷土資料館では、今年もこの一環として二つのイベントを開催します。まず一つ目は、「学芸員による郷土資料館の展示・収集資料解説」、二つ目は「昭和の歴史とレコードで聞く昭和歌謡」です。いずれのイベントも数回ずつ開催する予定です。

■開催日等 調整中

②郷土資料館セミナー

「東葛地方の歴史（仮題）」をテーマに外部講師を招き、数回シリーズで開催予定です。

■開催日等 調整中

③歴史講演会

外部講師が、鎌ヶ谷の歴史やその周辺地域の歴史に関する最新の研究成果をお話しします。

■開催日等 調整中

（4ページに続く）

(3ページからの続き)

④自然観察会

豊かな自然がまだ残されている市域を講師と歩きながら、野鳥や植物を観察します。身近な場所で思わぬ発見があるかも！

■開催日等 調整中

⑤学芸員講座

郷土資料館の学芸員が、日ごろの調査結果や研究の成果を皆さんへお伝えします。この機会に、市域の民俗や歴史にふれてみませんか。

■開催日等 調整中

⑥ボランティア養成文化財講座

市指定文化財をはじめ、市内に点在する数々の文化財を学んでもらい、ガイドボランティアとして活動してくれる方を養成する講座です。

■開催日等 調整中

講座 (子ども向け)

◇子どもワークショップ

このワークショップでは、郷土資料館にある写真から少し昔の鎌ケ谷の様子を学びます。また、実際に昔の道具にさわったり、使ってみたりすることで当時の暮らしを体験します。

■開催日等 調整中

◇夏休み子ども企画◇

①まが玉作り

大昔の人が身に着けていたアクセサリ「まが玉」を作ります。苦労して作ったまが玉は、世界でひとつの自分だけの宝もの。まが玉作りを体験することで、当時の生活に対する理解を深めてみませんか。

■開催日等 調整中

②あんぎんコースター作り

今ではお金を払えば簡単に手に入る布ですが、大昔の人は苦労しながらすべて手で編んで



いきました。この教室では、大昔の編み方「あんぎん編み」でコースターを作成します。あんぎん編みをとおして、当時の生活に思いをめぐらせてみませんか。

■開催日等 調整中

③昔のくらしふれあい広場

郷土資料館には、昔の道具がたくさん展示してあります。たとえば「唐箕^{とうみ}」や「三角定規^{さんかくじょうぎ}」など稲作で使っていた道具、そして「黒電話」や「蓄音機^{ちくおんき}」など毎日のくらしで使っていた道具など。形をかえて今も残るもの、今はなくなってしまったものにはどんなものがあったのでしょうか。この教室では、普段はふれることのできないこれらの道具を実際にさわったり、使ったりすることができます。

■開催日等 調整中

④郷土資料館たんけん！

郷土資料館のウラ側ってどんなふうになっているのだろう？この教室では、ふだん見ることのできない収蔵室や作業スペースなどのウラ側を学芸員が特別にご案内します。

■開催日等 調整中

⑤めざせ！考古学博士

鎌ケ谷市内の遺跡やそこから発掘された遺物などについて、学芸員が分かりやすく解説します。また、縄文土器の拓本も取ることができます。君も鎌ケ谷の考古学博士をめざそう！

■開催日等 調整中

鎌ケ谷市郷土資料館だより 第47号 令和元年5月15日発行 編集・発行：鎌ケ谷市郷土資料館

住所：〒273-0124 鎌ケ谷市中央1-8-31 Tel：047-445-1030 Fax：047-443-4502

メール：kyodo@city.kamagaya.chiba.jp

ウェブサイト：http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/index.html